



# 共育 協創

長井市立豊田小学校  
学校だより  
令和6年10月16日 No.13



## 体験をとおして 学ぶ

「経験は最良の教師」という言葉があります。学校では、さまざまな体験活動を取り入れていますが、その時々子どもたちの表情を目にしたり感想を聞いたりするたび、この言葉が思い浮かびます。

9日(水)には、5年生の稲作学習で、今年も泉地区の菅正与志先生の全面的なご協力のもと、稲刈り体験をさせていただきました。前日まで雨が降り、実施できるか心配しましたが、菅先生が子どもたちのために準備を整えてくださいました。鎌で稲を刈り取ることが初めての子どもも少なくありませんでしたが、ていねいなご指導をいただき誰一人けがすることなく無事に稲刈りを終えることができました。仕上げはコンバインで刈り取っていただき、子どもたちは、手作業で行った稲刈りと比較して農作業の大変さを実感できたようです。そのあと、乾燥から精米の過程を機械を前に説明していただきました。さながらお米工場のように、さまざまな機械をとおって一粒一粒磨かれていくお米。菅先生からは、「米作りについては動画でも見られる時代だけれど、こうやって体験することでわかることもある。さまざまな体験をしてほしい。」というお言葉をいただきました。体験して、生産者の方の話を直接お聞きし、教科書のなかの出来事がぐんと身近に感じられました。「体験活動は、学びを深める」とよく言われますが、まさにそうだと思いますし、こういった経験を子どもの中にすることは子どもたちの視野を広げることに繋がります。当日は、遠藤 さん、山田 さん、遠藤 さん、小鷹 さんに作業のお手伝いをさせていただきました。平日のお忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。また、子どもたちがいなくなるとすぐ、菅先生がフォークリフトを運転し、次の作業にとりかかってくださっていました。子どもたちのために、本当にありがとうございました。

12日(土)の5年生親子行事で食べた新米の味は、「新米のおいしさ+稲刈り体験+家族で過ごす時間+感謝=おいしさ100倍」の味だったことでしょう！



日本教育公務員弘済会山形支部様より本校に図書をご寄贈いただきました

11日(金)に贈呈式が行われ、5年安部 さん、3年島貫 さんが代表であいさつをしました。子どもたちは、いただいた本を今すぐにでも読みたいといった様子でした。本を読むことで、頭も心も磨かれます。大切に、たくさん読ませていただきます。ありがとうございました。



# 全国学力・学習状況調査の結果についてのお知らせ

今年度6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査についての結果をお知らせします。今後も一層、子どもたちにとって「わかる授業」「価値のある授業」を展開できるよう指導力向上に努めてまいります。なお、6年生には、通知票と一緒に個人の結果をお渡ししています。

【学力調査について】 国語、算数の結果(正答率)から以下のような「成果(◎)」が見られました。

< 国語 >

- ◎ 「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること」は全国平均を大きく上回りました。

< 算数 >

- ◎ 「( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること」は全国平均を上回りました。
- ◎ 「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する」は全国平均を上回りました。

【学習状況調査について】

< 肯定的な評価の割合が高かった項目 >

質問事項
先生は、授業中わかるまで教えてくれる
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
国語の授業は大切で、目的に応じて伝える内容を考える力をつけている
算数の勉強は大切で、授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ

< 肯定的な評価の割合が低かった項目 >

質問事項
1日あたり2時間以上テレビゲーム(スマホ、携帯電話を含む)をしている
将来の夢や目標を持っている
タブレット等ICT機器で考えを比べたり共有したりできる

【課題を踏まえた今後の取組】

< 学習面 >

- 読書では、どの子どもも学年にふさわしい読み物に触れることができるよう指導し、長い文章に触れる機会を、意識して授業の中に取り入れていきます。読書が好きな児童を増やしていきます。
- 日ごろから子どもたちの学習状況の把握に努め、わからないことがそのままにならないように指導していきます。また、全校テスト等を活用しながら、子どもたちに漢字や計算等基礎的な力をつけていきます。
- タブレット等ICT機器を効果的に取り入れ、子どもたちが自分で調べたり、友達と考えや情報を共有したりしながら、一人一人が「わかった」を実感できる授業を目指します。

< 生活面 >

- 生活リズムの改善・確立に向けて、各ご家庭のご協力をお願いしながら、アウトメディアや「早寝・早起き・朝ごはん」等の取組みをさらに推進していきます。
- 家庭学習については、子どもたちが少なくとも学年の目標時間は達成できるよう、指導・見届けをしていきます。
- 子どもたちが、一人一人の目標や頑張りを将来につなげて考えたり、さらに高い目標に取り組んだりできるよう、学級活動や学校行事等をおして達成感や成就感を味わえるようにしていきます。

保護者面談について、都合をつけてくださりありがとうございます。面談では前期の通知表をお渡ししています。心配なことや気がかりなことなどあればいつでも学校にご相談ください。